

Mizuho Daily Market Report

2025/8/21

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.65	147.33	▲0.34	▲0.05
EUR	1.1643	1.1652	+0.0005	▲0.0053
AUD	0.6439	0.6434	▲0.0020	▲0.0112
SGD	1.2855	1.2852	+0.0002	+0.0051
CNY	7.1791	7.1758	▲0.0066	▲0.0008
MYR	4.2260	4.2265	+0.0027	+0.0195
THB	32.57	32.55	+0.04	+0.29
IDR	16274	16270	+25	+75
PHP	57.00	56.97	▲0.14	+0.21
INR	87.06	87.08	+0.11	▲0.42
VND	26344	26373	+0	+91

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.291%	▲1.5 bp	+5.8 bp
日本(10年)	1.611%	+0.9 bp	+9.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.717%	▲3.3 bp	+3.7 bp
オーストラリア(5年)	3.656%	▲3.2 bp	+4.9 bp
シンガポール(5年)	1.653%	▲1.5 bp	▲0.3 bp
中国(5年)	1.662%	+3.5 bp	+8.8 bp
マレーシア(5年)	3.083%	+0.7 bp	▲1.4 bp
タイ(5年)	1.144%	▲0.2 bp	▲7.5 bp
インドネシア(5年)	5.868%	▲6.7 bp	▲0.6 bp
フィリピン(5年)	5.678%	+1.7 bp	▲4.5 bp
インド(5年)	6.262%	▲2.9 bp	+3.4 bp
ベトナム(5年)	2.831%	+0.8 bp	+5.2 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	44,938.31	+0.0%	+0.0%
N225(日本)	42,888.55	▲1.5%	▲0.9%
STOXX50(ユーロ圏)	5,472.32	▲0.2%	+1.6%
ASX(オーストラリア)	5,028.28	+1.0%	+1.2%
FTSE(シンガポール)	4,219.54	+0.1%	▲1.2%
SSEC(中国)	3,766.21	+1.0%	+2.2%
SENSEX(インド)	81,857.84	+0.3%	+1.6%
JKSE(インドネシア)	7,943.83	+1.0%	+0.6%
KLSE(マレーシア)	1,588.21	▲0.1%	+0.1%
PSE(フィリピン)	6,277.87	+0.0%	▲0.7%
SETI(タイ)	1,248.13	+1.0%	▲2.3%
VNINDEX(ベトナム)	1,664.36	+0.6%	+3.3%

商品

商品	終値	前日比	前週比*
商品スポット・先物			
CRB	296.01	+0.7%	+0.4%
金	3,348.43	+1.0%	▲0.2%
原油(WTI)	63.21	+1.4%	+0.9%
銅	9,629.75	+0.4%	▲1.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.00	—	148.20
EUR/USD	1.1620	—	1.1750
AUD/USD	0.6385	—	0.6630
USD/SGD	1.2760	—	1.2930
USD/CNY	7.1460	—	7.2190
USD/MYR	4.1700	—	4.3130
USD/THB	31.80	—	33.15
USD/IDR	16000	—	16350
USD/PHP	56.50	—	57.90
USD/INR	85.70	—	88.20
USD/VND	25,900	—	26,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台後半でオープン。仲値近辺はドル売り優勢の展開となり、147円台半ばまで下落。その後、RBNZが市場予想通り25bp利下げを行うも、声明文にて追加緩和余地が示唆されたことからNZドル売りドル買いで反応し、ドル円相場をサポート。ただ、ジャクソンホール会合でのパウエルFRB議長講演を前に動意なく、147円台半ばで揉み合いとなった。引けにかけては大口フローもあってか147円台前半へ下落し、結局同レベルで海外時間に渡った。昨日のアジア通貨は小動き。注目されたインドネシア金融政策決定会合では市場の予想外に25bpの利下げが決定され、政策金利は5.00%に引き下げられた。今年の利下げ回数はこれで4回(計1.00%)となり、中銀は「引き続き米国の関税政策の影響を確認しつつ、更なる利下げ余地を模索していく」と述べた。尚、発表前後のインドネシアルピアの動きは限定的となったが、本日以降の動きが注目される。

欧州時間のドル円は引き続き米国時間でのイベントを控える中、147円台半ばへ上昇しNY時間へ引き継がれる形に。NY市場午前中のドル円は米金利の低下が重しとなり、146円台後半まで売られる軟調な展開でスタート。午後に発表された米7月FOMC議事録では、「大半の参加者が雇用よりインフレのリスク大きいと判断」、「現在の金利が中立水準を大きく上回っていない可能性がある」等との文言が示された事を受け、FRBが利下げを巡り慎重な姿勢を見せた事を背景にドルが買い戻され、147円台前半へ反発しクロスした。

【金利】

昨日の米10年債利回りは小幅に下落。NY時間午前、米株が弱含みリスクオフの雰囲気となる中、米債にも売りが入り金利低下圧力が生じた形。午後に入ると20年の長期債入札が行われ、内容は若干の軟調さをみせるも市場への目だった動きにはつながらず。FOMC議事録公表後は、そのタカ的な要素に反応し金利は短期ゾーン主導で上昇。結局、米10年債利回りは前日比▲1.5bpの4.291%で着地。

【予想】

本日のドル円は方向感の乏しい展開を予想。昨日公表された7月FOMC議事録の内容はややタカ派なものであったが、それ以降に公表された弱い7月雇用統計を織込んでいないものでもあり、昨日の米金利市場での反応は限定的なものに留まった。市場参加者の8割と太宗が9月FOMCを予想している状態だが、引き続き今週末に控えるジャクソンホール会議でのパウエル議長発言が注目されており、週末に向けては方向感に乏しい値動きが継続すると思料。

【本日の予定】

(日本) 7月 工作機械受注(確)
(日本) 8月 複合 PMI(速) / 製造業 PMI(速) / サービス業 PMI(速)
(アジア) 2Q インドネシア 国際収支:経常収支
(アジア) 7月 NZ 貿易収支
(アジア) 7月 中国 SWIFT グローバル支払
(アジア) 7月 韓国 PPI
(アジア) 8月 インド 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(アジア) 8月 豪 消費者インフレ期待
(アジア) 8月 豪 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(アジア) 8月 韓国 輸出 20日間 / 輸入 20日間
(アジア) 休場 フィリピン
(欧州) 6月 ユーロ圏 建設業生産高
(欧州) 7月 スイス 実質輸出 / 実質輸入
(欧州) 7月 英 公共部門純借入所要額 / 中央政府純借入所要額
(欧州) 7月 英 公共部門純借入額 / 公的部門純借入額
(欧州) 8月 ユーロ圏 消費者信頼感(速)
(欧州) 8月 ユーロ圏 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) 8月 仏 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) 8月 独 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) 8月 英 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(米国) 7月 中古住宅販売件数
(米国) 7月 先行指数
(米国) 8月 フィデリティ連銀景況
(米国) 8月 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(米国) TIPS入札(30Y)
(米国) シャクソンホール会議
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。